

一茶ゆかりの里四季の俳句会

選者 志やくなげ俳句会 高野 閑林 先生

一般の部（令和五年七月〜九月分）

特選天 若葉山飛ぶように行く猿の群 千葉県 水野 春美

里山でしょうか。初夏に萌えだした若葉の林中を元気な猿たちが移動していく様子が「飛ぶように」の措辞から鮮やかに感じとれます。

特選地 足跡の駆け出していく夏の浜 愛知県 武山 明彦

海水浴場の砂浜を想像しました。元気な子どもたちが我先に海に向かって走って行く様子を足跡から詠まれた所がユニークな句です。

特選人 川蜘蛛の雲伝ひ来る潦 群馬県 町田 宏

川蜘蛛はあめんぼの異称。潦とは夕立などの後にできた水たまりや流れのこと。水たまりに写った雲とあめんぼの様子が「雲伝ひ来る」の措辞で目に浮かびます。

入選 名工の壺を並べて夏座敷 熊本県 貝田 ひでを

入選 虹二重呼び来る君を入れて撮る 群馬県 安齊 和子

入選 みんなの唸りてよりの声高し 群馬県 仙田 美名代

入選 知り合いを声で察して蛍狩 群馬県 竹渕 洋子

入選 老姉妹似てくる容姿七変化 群馬県 竹渕 千恵子

入選 転げ落つことも逃げ技てんと虫 群馬県 篠原 庄治

入選 冷房の部屋にせわしき防護服 群馬県 滝澤 照香

子どもの部（令和五年四月〜九月分）

特選 夏休み朝早く起きお出かけだ 東京都 松井 莉愛

夏休みで家族でどこかへお出かけですね。何処へ行くとは書いてありませんが、少し遠くへ行くんですね。弾む気持ちたちが伝わってくる句です。

特選 げんかん前けむりで分かる初秋刀魚 東京都 小田島 友梨亜

学校帰りでしょうか。それとも遊び終わっての帰宅でしょうか。玄関を開けた瞬間の様子を詠まれた佳作です。「けむりで分かる」とはすばらしい臭覚ですね。

入選 妹がうんていできた秋日和 東京都 吉野 瑛士

入選 かき氷シロップなにをかけようか 高山村 横田 陽架

入選 おさんぽでどんぐりあたまにふってきた 東京都 迎 ひびき